

教 科	国語	単位数	3	学科	普通科	学年	3	全/選	全
科 目	現代文								
使用教科書	現代文（第一学習社）								
副 教 材 等	常用国語便覧（浜島書店） 確かめやすい漢字の総仕上げ（浜島書店）								

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 近代以降の様々な文章を読む能力を高めます。 2 ものの見方、感じ方、考え方を深めます。 3 進んで発表し読書することによって人生を豊かにする態度を育てます。
評 価 方 法	1 中間考査と期末考査の成績、常用漢字テストの成績、プリント・提出物・ノートなどの内容、発表の仕方や内容、学習活動への参加の姿勢や態度を総合して100点満点で評価します。 2 評価の内訳は、中間考査と期末考査の成績が70%、漢字テストの成績が10%、プリント・ノートなどの提出物の内容と発表の仕方や内容、学習活動への参加の姿勢や態度が20%です。
生徒へのアドバイス	「現代文」は、近代以降の様々な種類の文章を読みながら、1年間の学習をとおして学習到達目標を達成します。担当者からの指示や説明などを良く聞いて、積極的かつ意欲的に授業に参加してください。評価については、上で説明したように様々な観点から行います。普段の授業の1時間1時間を大切にしてください

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	1 進んで自分の意見や考えが表現できているか。 2 言葉に関心を持ち適切に使ったり、進んで読書しようとしていたりしているか。 3 読書に対する意欲を自ら喚起し、読書力を高めようとしているか。	1 学習活動への参加の姿勢や態度 2 プリント 3 ノート
話す・聞く能力	1 日常的な課題に応じて様々な情報を収集し活用してすすんで表現しようとしているか。 2 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合おうとしているか。 3 文章の理解を深め、興味・関心を広げるために創作的な活動を行おうとしているか。	1 学習活動への参加の姿勢や態度 2 プリント 3 ノート
書く能力	1 論理的な文章を読んで、書き手の考え方やその展開の仕方などについて意見を書こうとしているか。 2 目的や課題に応じて様々な情報を収集し活用して、すすんで表現しようとしているか。	1 プリント 2 作文 3 定期考査 4 ノート
読む能力	1 論理的な文章を読んで書き手の考えや要旨を的確に捉えることができているか。 2 文学的な文章について、人物・情景・心情などを的確に捉え、表現を味わおうとしているか。 3 様々な文章を読むことを通して、人間・社会・自然などについて自分の考えを深めたり、発表しようとする姿勢があるか。	1 プリント 2 定期考査 3 ノート
言語事項	語句の意味・用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえているか。	1 プリント 2 定期考査 3 漢字テスト

3 学習計画等

学期	考查	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	評論（一） 1「ホンモノのおカネの作り方」	<ul style="list-style-type: none"> ・指示語、接続詞など基本的な文章を理解する。 ・筆者のものの見方・考え方を読み取る。 ・文章構成について理解し、論理の展開をとらえる。 「理解」のパターンをとらえ、自分で考えることの意義について思索を深める。
		5		
	期 末	5	小説（一） 「ウサギ」 探求と表現 「意見文の書き方」	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の意味を正確に理解する。 ・情景描写、心理描写を区別する。 ・登場人物の人物像、心情の推移を的確に把握する ・情景描写に込められた意味を読み取る。 ・作中に表現された心情を読み味わう。 ・作品のテーマを考える。 ・作文の基礎を復習し、実用的な文章の練習をする。
		6		
		7		
2 学期	中 間	9	評論（二） 「この村が日本で一番」 「身体の個別性」	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成を的確にとらえ、要旨をまとめることを通して、筆者の考え方を理解する。 ・科学的な要素と他の要素との絡み合いについて、さまざまな例を思いおこし、自分の考えをまとめる ・文章構成に即して要旨をまとめ、筆者のものの見方、考え方を的確にとらえる。 ・二十一世紀の日本のありかたに関する筆者の考え方に対して、自分の考えをまとめる。
		10		
	期 末	10	小説（三） 「舞姫」	<ul style="list-style-type: none"> ・描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わい、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりする。特に、日本の近代と個人の生き方との関係について考える。
		11		
		12		
3 学 年 末	学 年 末	1	詩 「足と心」「冬の日」「自然の背後に隠れている」	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の特徴を理解し、深く親しむ。鑑賞の基本的な態度、方法を身につけ、ものの見方、感じ方、考え方を深める。
		2		
		3		
課題提出物等	1	授業の中で使用するプリントや作文など		
	2	ノート		
	3	夏休みの読書感想文		

教 科	国語	単 位 数	2	学 科	普通科	学 年	3	全 / 選	全
科 目	古典								
使用教科書	高校生の古典（明治書院）								
副 教 材 等	常用国語便覧（浜島書店） 基礎からの古典文法（第一学習社）								

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 長年にわたって伝えられ、現代においても、なおその価値を保っている古典としての古文と漢文を読む能力を身につけます。 2 古典に描かれた現代に共通するものの見方、感じ方、考え方や、古典独特のものの見方、感じ方、考え方を的確に読み取る能力を身につけます。 3 古典の豊かな世界に触れ、古典に親しむ態度を身につけます。
評 価 方 法	1 中間考査と期末考査の成績、プリント・提出物・ノートなどの内容、発表の仕方や内容、学習活動への参加の姿勢や態度を総合して100点満点で評価します。 2 評価の内訳は、中間考査と期末考査の成績が80%、プリント・ノートなどの提出物の内容と発表の仕方や内容、学習活動への参加の姿勢や態度が20%です。
生徒へのアドバイス	我々が古典を読むためには、その内容を現代語に置き換えて理解するために、語釈や文法の理解といった独特な作業が必要となってきます。また同時に現代文学を読む場合と同じように、内容や表現を深く読み味わおうとする姿勢も大切です。担当者からの指示や説明などを良く聞いて、積極的かつ意欲的に授業に参加してください。また、毎時間、国語便覧や古語辞典、文法書を必ず用意しておいてください。教科書は2年生で使用したものの中の「後編」を継続使用します。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	1 進んで音読・話し合い・調べものなどの学習活動に取り組んでいるか。 2 積極的に古典に親しんでいるか。	1 学習活動への参加の姿勢や態度 2 授業の中で使用するプリント 3 ノート
読む能力	1 古典に表れた、作者や作中人物の思想や感情を的確に読み取ることができるか。 2 古典に描かれた世界と現代を対比することで、共通点・相違点を認識しているか。	1 学習活動への参加の姿勢や態度 2 授業の中で使用するプリント 3 ノート
知識・理解	1 古典の理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙点を認識しているか。	1 授業の中で使用するプリント 2 定期考査 3 ノート

3 学習計画等

学期	考查	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中間	4	古文編 1 神話と歴史物語 「古事記」「大鏡」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神話や歴史物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・ 敬語について理解し、口語訳に適切にいかす。 ・ 自然、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・ 文章の表現上の特色を理解する。
		5		
	期末	5	漢文編 1 寓話に学ぶ 「兼愛」 「夢為蝴蝶」 「不死之薬」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訓読によって話のあらすじを把握できるようにする。 ・ 登場人物の心情がどのように表現されているかを考える。 ・ 話の内容を理解し、漢文を読み味わう。
		6		
2 学期	中間	7	古文編 1 物語 「冥土の飛脚」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長編物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・ 江戸時代の人々の文化に触れる。 ・ 近世の他の作品についても理解する。
		9		
	期末	10	漢文編 1 史伝 「史記」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長めの文章を読んで、漢文に親しみをもち、話の内容を理解する。 ・ 話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 ・ 漢楚の興亡についての概要を知る。 ・ 中国における歴史書と歴史の記録について、その特徴を知る。 ・ 『史記』の文学性と作者司馬遷についての概要を知る。 ・ 歴史の中の人間について考える。
		11		
3 学期	学 年 末	1	古文編 1 和歌 「万葉集・和歌」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 和歌の優れた表現に親しむ。 ・ 和歌にこめられた思想や感情を読み取る。 ・ 和歌の修辞技巧や『万葉集』の時代の表現・文法上の特色を理解する。
		2		
		3		
課題提出物等	1	授業の中で使用するプリントなど		
	2	ノート		

教 科	地理歴史	単 位 数	3	学 科	普通科	学 年	3	全 ／ 選	全
科 目	世界史 A								
使用教科書		世界史 A 新訂版（実教出版）							
副 教 材 等		ダイアログ世界史図表（第一学習社）							

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 近現代史を中心とする世界の歴史を、我が国の歴史と関連付けながら理解させる。 2 人類の課題を多角的に考察させることによって、歴史的思考を培う。 3 国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。
評 価 方 法	1 定期試験では、おもに知識・理解の評価をはかり、授業における活動や例示した課題などで、関心・意欲、思考・判断、資料活用の技術の評価を行う。 （定期テスト 70％・授業時の提出課題 30％） 2 このシラバスは、あくまで予定を示したもので、状況により時間配分や課題・発表などを変更することがある。
生徒へのアドバイス	1 平常の授業を最も大切にしてください。教師や生徒の説明・意見などをしっかり聞き、教科書・資料集などを丁寧に調べて、重要な内容や、事柄の基本的な問題を理解してください。 2 普段の新聞やテレビなどで報道される事柄にも、強い関心をもって接し、学習内容と関連づけ、より理解を深めてください。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心を高め、意欲的に追究している。	教科書・提出物・ノート・授業への姿勢
資料活用・表現	近現代史を中心とする世界の歴史に関する文献、絵画、統計などの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身につけるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現している。	資料の収集・資料の解釈・発表
思考・判断	近現代史を中心とする世界の歴史を、我が国の歴史と関連付けて、多面的多角的に考察している。	発言・発表・提出物・定期考査
知識・理解	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を、我が国の歴史と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	定期考査・提出物

3 学習計画等

学期	考 査	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	中 間	4	第1章 諸地域世界と文明 東アジア世界と中国文明 南アジア世界とインド文化 乾燥世界とイスラーム ヨーロッパ世界とキリスト教	・風土、民族、宗教などに着目させながら、ユーラシアを中心に形成された諸地域世界の特徴を把握させる。
		5	第2章 諸地域世界の交流 海域世界の成長 遊牧社会の膨張 地中海域 東アジア海域	・諸地域相互の交流に触れ、世界の一体化につながる交流圏の成立に気付かせる。
	期 末	5	第3章 アジアの諸帝国とヨーロッパの主権国家体制 一体化に向かう世界 イスラム諸帝国の成熟 清帝国と東アジア ヨーロッパの主権国家体制 大西洋交易圏の成立	・大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアとの接触・交流を扱い、16世紀の世界の一体化への動きを理解させる。 ・アジアの諸帝国の政治と社会、ヨーロッパの主権国家体制の成立、大西洋貿易の展開を扱う。
		6	第4章 ヨーロッパ・アメリカの諸革命と世界の変貌 工業化社会への転換 アメリカの独立とヨーロッパの革命 近代国民国家の形成と展開 アジア・アフリカ・ラテンアメリカの変貌	・産業革命、フランス革命、アメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展、拡大する貿易活動を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける資本主義の確立と国民形成を理解させる。 ・ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容、その中で日本の対応を扱い、19世紀の世界の一体化とその特徴を理解させる。
		7	東アジアと日本の動向	
2 学 期	中 間	9	第5章 現代世界のあゆみ 急変する世界 第一次世界大戦とロシア革命 戦間期のヨーロッパとアメリカ	・輸送革命、マスメディアの発達、企業や国家の巨大化、社会の大衆化と政治や文化の変容、公教育の普及と国民統合などを扱い、20世紀という時代の特徴を人類的視野から把握させる。 ・第一次世界大戦と第二次世界大戦の原因や総力戦としての性格、それらが及ぼした影響を理解させ、平和の意義などについて考察させる。
		10	民族運動の高揚 第二次世界大戦	
	期 末	10	第6章 第二次世界大戦後の世界 冷戦と第三世界	・第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解させ、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察させる。
		11	多極化と冷戦の終結 現代の世界	・1970年代以降の市場経済の世界化や地球規模での問題の出現を理解させ、日本が世界の諸国、諸地域と多様性を認めあいながら共存する方向などについて考察させる。
		12	第7章 地球社会へ向かって 頻発する戦争・紛争と平和への努力	・冷戦終結後の世界で起こった地域紛争の原因や歴史的背景を追究させ、国際社会の変化や国民国家の課題などについて考察させる。
3 学 期	学 年 末	1	巨大技術と情報化 地球環境の危機回避に向けて	・原子力の利用、情報科学など現代の科学技術の人類への寄与と課題を追究させ、人類の生存と環境、世界の平和と安全などについて考察させるとともに、国際的な交流と協調の必要性に気付かせる。
		2 3		
課題提出物等	ノート 課題プリント ビデオ視聴後のレポートなど			

教 科	公民	単 位 数	3	学 科	普通科	学 年	3	全 ／ 選	全
科 目	現代社会								
使用教科書		高等学校 改訂版 新現代社会（第一学習社）							
副 教 材 等		ワイド 現社（第一学習社）							

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 現代社会と人間について、広い視野に立った理解を深めます。 2 基本的な問題についての、主体的な思考・公正な判断力、生き方の基礎を養います。 3 文化・福祉の向上・発展に寄与・貢献する力と、平和で民主的な社会生活の実現・推進に主体的に参加・協力する態度を養います。
評 価 方 法	定期考査（7割）と平常点（レポート・ノートなど）（3割）です。
生徒へのアドバイス	1 平常の授業を最も大切にしてください。教師や生徒の説明・意見などをしっかり聞き、教科書・資料集などを丁寧に調べて、重要な内容や、事柄の基本的な問題を理解してください。 2 普段の新聞やテレビなどで報道される事柄にも、強い関心をもって接し、学習内容と関連づけ、より理解を深めてください。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	現代社会の基本問題と人間にかかわる事柄に関心を高め、総合的にとらえ、より良い社会の実現に向けて、参加・協力する態度を身につけ、生き方の自覚を深める。	・教科書・ノート・「資料集」の準備 ・課題への取り組み
思考・判断	現代社会の基本問題と人間に関わる事柄から課題を見だし、事象の本質や人間としての在り方・生き方を多面的に、公正に判断する。	・発表・発言 ・定期考査 ・課題の内容
資料活用・表現	諸資料をさまざまなメディアを通して収集し活用し、その課程や結果をさまざまな方法で表現する。	・課題（プリントなど） ・「資料集」の内容の理解 ・資料の収集
知識・理解	現代社会の基本的問題と人間としてのあり方、行き方に関わる事柄や学び方を理解しその知識を身につけている。	・「定期考査」 ・課題の内容

3 学習計画等

学期	考查	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	第 編 現代に生きる私たちの課題 第 1 章 地球温暖化と公害～第 5 章 豊かな生活と福祉社会	・現代社会に関する課題を様々な観点から追求し、 現代社会への関心を高め、いかに生きるかを考え ます。
		5	第 編 現代の社会生活と青年 第 1 章私たちの生きる現代社会(大衆 社会 少子高齢化	・資料の収集・活用法、学び方や調べ方を身に付け ます。 ・現代社会の特質と社会生活の変化を理解します。
	期 末	5	情報化 国際化) 第 2 章 自分らしい生き方をめざし て(青年期 自立)	・青年期の意義と自己形成の課題について考察し、 青年としての生き方を自覚するようにします。
		6	(社会へ 社会参加) 第 編 現代の経済社会と国民生活 第 1 章 現代の経済社会	・激動する経済社会について、様々な角度から理解 を深め、個人や企業の経済活動における社会的責 任について考察します。
		7	(企業 市場 景気変動と 政府 記入機関 財政 と税 金融と財政問題)	・新聞記事などを題材にして、現実の動きと関連さ せて学習します。
2 学期	中 間	9	第 2 章 日本経済の特質と国民生活 (産業構造 中小企業 農業 労働問題 社会保障 公害)	・政治・経済の学習と関連させて学びます。
		10	第 編 現代の民主政治と民主社会の 倫理	・日本国憲法の基本原理と政治機構、民主政治にお ける世論形成と政治参加の意義などを理解し、民 主政
	期 末	10	第 1 章 日本国憲法 (基本原理 制定 自由権 平等権 社会権)	治において主体的に生きる人間としての、在り 方・生き方を考えます。
		11	(今日の人権 公共の福祉) (平和主義と防衛問題) 第 2 章 憲法と政治のしくみ	・新聞・資料集などを利用し、具体的で身近な事例 を通して、理解するようにします。
		12	(国会)	・政治・経済、日本史や世界史の学習内容と関連さ せるようにします。
3 学期	学 年 末	1	(行政 裁判 地方自治と福 祉 政治参加と選挙 政党 と世論)	・世界の主な国の政治体制を比較しながら理解させ るとともに、望ましい政治や主権者としての賛成 の在り方について考えます。
		2	第 編 国際社会の動向と日本の役 割(政治の変化 経済の動向 と国際協力 人類の課題	・主権や国際政治、国際経済などの諸問題を理解し、 国際社会における日本の役割や日本人の生き方 を考えます。
		3	宇宙船地球号)	
課題提出物等 ・ノート ・ビデオの視聴後のレポート ・新聞記事に関するレポート など				

教 科	数学	単位 数	2	学 科	普通科	学 年	3	全 ／ 選	全
科 目	数学 A								
使用教科書		新版数学 A（実教出版）							
副 教 材 等									

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	平面図形、集合と論理及び場合の数と確率について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟をします。また、具体的な事象を数学的に考察し、処理するための能力を育てるとともに数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにします。
評 価 方 法	1 中間考査、期末考査、小テスト、プリント及び課題、授業態度、出席状況、その他などで評価します。 2 学期及び学年の評価は、原則として中間考査と期末考査の成績で70%、その他の項目で30%の配分で評価します。
生徒へのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・1つ1つの公式を覚えるだけでなく、学習の途中での見方や考え方をよく理解し、何が本質であるかを見抜くことが大切です。 ・ノートは、単に板書を写すだけでなく、手順やそこで必要な公式等の確認事項などが十分に理解できるように作成することが大切です。 ・例題等を参考とし積極的に練習問題等に取り組み、繰り返しのなかで理解を深めることが大切です。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・集合や命題を図表示などを用いて理解しているか。 ・具体的な事象の考察を通して順列、組合せや確率について考えられるか。 ・実生活に数学的な見方や考え方が活用できることを認識しているか。 ・図形の性質の美しさを味わったり、図形を多面的にとらえたりするなど、その見方を豊かにしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の仕方や態度 ・授業で使用するプリント ・授業ノートの整理 ・問題演習への取り組み
数学的な見方や考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・集合の学習を通して、いろいろな事象や数学の諸概念を統合的に見ることの有用性を認識しているか。 ・集合を命題などの考察に生かし、論理的な思考ができるか。 ・不確定な事象を数量的にとらえることの有用性を認識しているか。 ・図形の性質を見通しを持って論理的に考察できるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、小テスト ・授業で使用するプリント ・質問に対する発表の内容 ・演習問題プリント
表 現・処 理	<ul style="list-style-type: none"> ・集合の考え方をを用いて具体的な事象について考察できるか。 ・具体的な事象を数学的に考察し、処理しているか。 ・図形の性質を表現したり、証明したりできるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、小テスト ・授業で使用するプリント ・質問に対する発表の内容 ・演習問題プリント
知 識・理 解	<ul style="list-style-type: none"> ・集合について理解する。命題について理解し、証明ができるか。 ・順列、組合せの用語や記号を理解し、利用ができているか。 ・具体的な事象の確率を求められるか。 ・三角形や円などの基本的な図形の性質について理解を深めているか。 ・図形に関する定理を理解し、証明ができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、小テスト

3 学習計画等

学期	考 査	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	中 間	4	1 章 集合と論理 1 節 集合と要素の個数 1 . 集合 2 . 集合の要素の個数	・ 集合についての基本的な事項を理解し、統合的に 見ることの有用性を認識し、それらを命題などの 考察に生かすことができるようにします。 ・ 必要条件、十分条件、対偶、背理法などを理解し、 論理的な思考力を伸長する。また、背理法につい てその考え方を理解します。
		5	2 節 命題と証明 1.命題と条件 2 .逆・裏・対偶	
	期 末	5	2 章 順列と組合せ 1 節 順列 1 . 場合の数 2 . 順列	・ 順列の意味を理解し、順列を使った様々な考え 方ができるようにします。また、用語や記号の有 用性を理解し、具体的な事象の考察に活用でき るようにします。 ・ 組合せの意味を理解し、その総数を求められ るようにし、二項定理を理解します。また、用語 や記号の有用性を理解し、具体的な事象の考察 に活用できるようにします。
		6	2 節 組合せ 1 . 組合せ	
		7	2 . パスカルの三角形と二項定理	
2 学 期	中 間	9	3 章 確率 1 節 確率とその基本性質 1 . 事象と確率 2 . 確率の基本性質	・ 確率の基本性質について理解し、不確定な事 象を数量的にとらえることの有用性を理解しま す。 ・ 独立試行における確率、反復試行の確率及び 期待値について理解し、日常生活における様々 な事象に活用できるようにします。
		10	2 節 いろいろな確率の計算 1 . 独立な試行とその計算 2 . 期待値	
	期 末	10	4 章 平面図形 1 節 三角形の性質 1 . 三角形の辺と角 2 . 三角形の五心	・ 三角形の辺の長さや角の大きさの関係を、内 角・外角の二等分線と辺の比、重心、外心、内 心について理解し、図形の性質を論理的に考察 し、的確に表現する能力を育成します。
		11		
		12		
3 学 期	学 年 末	1	2 節 円の性質 1 . 円周角 2 . 円の接線 3 . 2 つの円 4 . 方べきの定理	・ 四角形が円に内接する条件や方べきの定理、 二つの円の位置関係などを理解し、図形に対 する直観力・洞察力を養うとともに、図形の性 質を論理的に考察し、的確に表現する能力を育 成します。
		2		
		3		
課題提出物等				
必要に応じてノート及び授業中に使用したプリント等。				

教 科	理科	単 位 数	2	学 科	普通科	学 年	3	全 / 選	全
科 目	理科総合 B								
使用教科書	新版理科総合 B（実教出版）								
副 教 材 等	新版理科総合 B 演習ノート（実教出版）								

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 広い視野から、生物とそれを取り巻く環境を中心に自然現象に興味・関心を持ち、そこから新たな疑問点を見出すことで理解をいっそう深めます。 2 自然を総合的に見る見方や、自然を探究する能力や態度を学びます。 3 基本的な概念や原理・法則を理解します。
評 価 方 法	中間と期末の定期考查の成績で70％，課題，授業ノート，プリント等の提出物，その他，授業への取り組みを含めて30％の配分で総合的に判断して行います。
生徒へのアドバイス	・1回ごとの授業を大切にし，授業を通して，地球環境や生物についての科学的な見方や考え方ができるように，自分の学習目標を設定しましょう。 ・教師の発問には積極的に答えてください。 ・不明な点や疑問があったら質問や意見を出してください。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	・自然の事物・現象に関心を持ち，意欲的に授業に参加し取り組んでいるか。 ・教師の発問に対して，意欲的に答えているか。 ・授業態度は良好か。	・授業への参加の仕方や態度 ・ノート，プリント，レポートの内容及び提出状況 ・ノート，プリントの活用状況及び記入状況
思考・判断	・自然界の現象に関して，様々な観点から考察を加え，論理的に考えることができるか。 ・客観的な事実に基づいて自然現象を科学的に判断することができるか。	・定期考查の記述式問題。 ・レポートの内容 ・授業で使用するプリントの記入状況 ・発表の内容や仕方
観察・実験の技能・表現	・観察，実験の方法や実験器具の操作を理解して正しく行う能力を身につけたか。 ・自然界の事物・現象について科学的に探究する方法を身につけたか。 ・観察，実験の結果を的確に表現することができるか。	・定期考查での観察，実験に関する問題 ・レポートの内容 ・授業で使用するプリントの記入状況 ・発表の内容や仕方 ・実験器具の操作や方法
知識・理解	・自然の事物・現象における原理 ・法則などの基本的な知識や考え方を理解しているか。 ・実習，実験の目的や実験の原理などを理解しているか。	・定期考查 ・ノート，プリントの活用状況及び記入状況 ・レポートの内容

3 学習計画等

学期	考 査	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	中 間	4	「理科総合B」の学習について 第1章 地球の移りかわり 第1節 惑星としての地球 第2節 地球の変動	自然の探求の方法を中心に自然の見方や探究の仕方，学習の意義や内容を理解します。 他の惑星との比較において，生命を生み出す条件を備えた地球の特徴について理解します。
		5		
	期 末	5	第2章 地表の姿と大気 第1節 多様な景観 第2節 大気と水の循環	現在の地球上の陸地，島弧，海洋底などの景観の特徴と，それができた原因について理解します。 地球規模の大気と水の循環や運動について理解し，熱の移動と熱平衡が保たれていることを認識します。
		6		
		7		
2 学 期	中 間	9	第3章 生物の移りかわり 第1節 生物の変遷 第2節 遺伝の規則性	地球の歴史と生物の移り変わりについて，生命の起源から光合成生物の出現までについて理解します。 生物には親から子へ形質を伝える遺伝現象があることと，そこに遺伝子があることを理解します。遺伝の法則について学びます。
		10		
	期 末	10	第4章 生物と環境 第1節 生物の多様性 第2節 生物と環境のかかわり	生物の多様性と共通性について理解します。 生物の分類方法について学習します。 生物群集と環境全体のまとまりとしての生態系とは何かを理解します。
		11		
		12		
3 学 期	学 年 末	1	第5章 人間活動と地球環境の変化 第1節 人間と自然の関係 第2節 人間と自然の調和	人間生活が我々の生活環境に与える影響について理解します。 自然災害について知識を深めます。
		2		
		3		
課題提出物等		・授業プリント ・授業ノート ・問題集 ・実験 ・観察レポート		

教 科	保健体育	単 位 数	2	学 科	普通	学 年	3	全 ／ 選	全
科 目	体育								
使用教科書		現代保健体育（大修館）							
副 教 材 等		なし							

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実戦を通して、生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のために実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊で活力のある生活を営む態度を育てます。
評 価 方 法	・実技だけではなく、出欠席や態度・服装等を考慮して評価します。
生徒へのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりとした服装で、積極的に授業に参加してください。 ・行動を機敏にし、安全に配慮してください。 ・仲間との交流を深め自己表現能力を高めてください。 ・遅刻・欠席・見学はできるだけ避けてください。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	自ら進んで運動しようとする 公正・協力・責任などの態度を養う 健康・安全に留意する	授業への参加意欲の観察 個人やグループのカードの読み取り 実技試験
思考・判断	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題解決を目指し、工夫している	授業への参加意欲の観察 個人やグループのカードの読み取り 実技試験
技能	運動技能を高めている 体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付ける	授業での態度の観察 実技試験や記録会の結果分析
知識・理解	運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義等の基礎的な事項を理解し、知識を身に付ける	授業での態度の観察 個人カードの記述の読み取り

3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	オリエンテーション 体育理論 体づくり運動	年間計画を理解する。 運動技能の構造と運動の学び方を理解します。 総合的に体力を高める運動を行います。
		5	体づくり運動 〔前期選択〕 バスケット・バレーボール・バドミントン・ 卓球・サッカー・ソフトボール・テニス	総合的に体力を高める運動を行います。 種目ごとにオリエンテーションを行います。 自分の能力を把握します。
	期 末	5	〔前期選択〕 バスケット・バレーボール・バドミントン・ 卓球・サッカー・ソフトボール・テニス	基本技能を向上させます。 ゲームの審判方法等を理解します。
		6	〔前期選択〕 バスケット・バレーボール・バドミントン・ 卓球・サッカー・ソフトボール・テニス	向上させた技能を生かし、ゲームを楽しみます。 チーム、またはペアを編成し、リーグ戦等を行います。
		7	〔前期選択〕 バスケット・バレーボール・バドミントン・ 卓球・サッカー・ソフトボール・テニス	実技試験を行います。 リーグ戦等を行います。
2 学期	中 間	9	〔前期選択〕 バスケット・バレーボール・バドミントン・ 卓球・サッカー・ソフトボール・テニス	リーグ戦等を行います。
		10	〔後期選択〕 バスケット・バレーボール・バドミントン・ 卓球・サッカー・ソフトボール・テニス	種目ごとにオリエンテーションを行います。 自分の能力を把握します。
	期 末	10	〔後期選択〕 バスケット・バレーボール・バドミントン・ 卓球・サッカー・ソフトボール・テニス	基本技能を向上させます。 ゲームの審判方法等を理解します。
		11	〔後期選択〕 バスケット・バレーボール・バドミントン・ 卓球・サッカー・ソフトボール・テニス	向上させた技能を生かし、ゲームを楽しみます。 チーム、またはペアを編成し、リーグ戦等を行います。
		12	〔後期選択〕 バスケット・バレーボール・バドミントン・ 卓球・サッカー・ソフトボール・テニス	実技試験を行います。 リーグ戦等を行います。
3 学期	学 年 末	1	〔後期選択〕 バスケット・バレーボール・バドミントン・ 卓球・サッカー・ソフトボール・テニス	リーグ戦等を行います。
		2		
		3		
課題提出物等		体調不良等の理由で授業に参加できない（見学する）者については、別にレポートを課す場合があります。		

教 科	外国語	単 位 数	4	学 科	普通科	学 年	3	全 / 選	全
科 目	リーディング								
使用教科書	ORBIT English Reading New Edition （SANSEIDO）								
副教材等									

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	読む、書く、話す、聞くの総合的な英語の4技能を向上させながら、本文の内容把握を通じて感性を養い、教養を深める。様々な様式、長さの英文を読んで、情報や書き手の意向などを理解する態度を更に伸ばす。
評 価 方 法	原則として各学期に行われる定期考查の得点で7割、日常の学習における課題の提出、授業への取り組み姿勢、小テストなどで3割の総合評価とする。
生徒へのアドバイス	1,2年次よりも、読む英文の量が多くなるので、できる限り自宅で予習をしてきて欲しい。授業中には自ら積極的に英文を読み、理解しようと努めて欲しい。新出単語、意味のわからない単語を各自で覚えるようにして欲しい。提出物は必ず期限内に提出すること。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	きちんと授業に出席しているか。 授業にしっかり取り組んでいるか。 ノートをしっかりとっているか。 課題をきちんと提出しているか。 音読をしっかりとやろうとしているか。	出席状況の確認。 授業中の態度の観察。 ノートの提出チェック。 課題の提出チェック。 授業中の観察。
読む能力	教科書の英文内容を理解し、適切な日本語にまとめられるか。 内容についての質問に答えられるか。 学習した文章を音読できるか。	定期考查の読解問題に答えられるか。また、授業中に指名された時に、答えられたり音読したりできるか。
書く能力	学習した基本表現を自分で書けるか。 基本表現の応用ができるか。	定期考查の中で、文法的な問題や語句の運用問題に答えられるか。
語彙能力	新しく学習した語句の意味を覚えようと努力しているか。また、発音できるようにしているか。	単語の小テストや、定期考查の中での語彙・発音問題で確認。

3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	Reading 1 Confusion between Languages Reading 2 A Misspelled Letter Reading 3 “People Watching” on Tokyo Trains	本文の内容を理解させ、適切に音読させる。 [主語＋動詞]に注意する。 「理由」を表す表現、「時間や頻度」に関する表現
		5	Reading 4 The Bear and the Travelers Reading 5 Pet’s Effect on Health	文中の「重要な語」を探す。 「話題文」と「指示文」
	期 末	5	Reading 6 One Swallow does not Make a Summer Reading 7 Record Breaking Birds	「話題文」とその「具体例」に注意する。 「つながり」の表現に注意する。
		6	Reading 8 Test Your Limits! - The Bob Weiland Story - Reading 9 Why do Cats Play? Reading 10 An Appointment with Death	2つ以上[主語＋動詞]がある文。 文中の「問いかけ」と「答え」に注目する。 「代名詞」に注意する。
		7	Reading 10 An Appointment with Death	本文を適切に音読させる。
2 学期	中 間	9	Reading 11 The King and His Soldier Reading 12 Why did Something Strange Happen? Reading 13 Cashier Defeats Gunman	「原因」と「結果」の関係 1。 比較・対照をしめす表現。 命令文に注意する。
		10	Reading 14 Deep Impact Reading 15 Food Shortage: What do you think?	「倒置」の表現。 「原因」と「結果」の関係 2。
	期 末	10	Reading 16 “Doctors Without Borders” Reading 17 The Capricious Robot	ことばを定義していく構成法。 「時間を表す語句」に注意する。
		11	Reading 18 A Real Superman Reading 19 I Have Never Seen You Before Reading 20 Fine Arts of the East and the West	出来事や行動を列挙する表現。 段落の展開に注意する。 目的に応じて読む。
		12	Reading 20 Fine Arts of the East and the West	エッセイの形式に親しむ。
3 学 年 末	学 期	1	Reading 21 Mottainai - A Speech by Wangari Maathai - Reading 22 The Cornerstones of Peace	段落の構成に注意する。 ポイントとなる語句に注意する。 戦争と平和について考えさせる。
		2		
		3		
課題提出物等		・学習進度に合わせてノートを提出してもらいます。 ・プリントや課題の提出も指示します。		

教 科	国語	単 位 数	2	学 科	普通科	学 年	3	全 / 選	選
科 目	古典購読								
使用教科書	平安文学選（右文書院）								
副 教 材 等	常用国語便覧（浜島書店） 基礎からの古典文法（第一学習社）								

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> 1 長年にわたって伝えられ、現代においても、なおその価値を保っている古典としての平安時代の古文を読む能力を身につけます。 2 古文に描かれた現代に共通するものの見方、感じ方、考え方や、古文独特のものの見方、感じ方、考え方を的確に読み取る能力を身につけます。 3 古文の豊かな世界に触れ、古文に親しむ態度を身につけます。
評 価 方 法	<ol style="list-style-type: none"> 1 中間考査と期末考査の成績、プリント・提出物・ノートなどの内容、発表の仕方や内容、学習活動への参加の姿勢や態度を総合して100点満点で評価します。 2 評価の内訳は、中間考査と期末考査の成績が80%、プリント・ノートなどの提出物の内容と発表の仕方や内容、学習活動への参加の姿勢や態度が20%です。
生徒へのアドバイス	<p>我々が古文を読むためには、その内容を現代語に置き換えて理解するために、語釈や文法の理解といった独特な作業が必要となってきます。また同時に現代文学を読む場合と同じように、内容や表現を深く読み味わおうとする姿勢も大切です。担当者からの指示や説明などを良く聞いて、積極的かつ意欲的に授業に参加してください。また、毎時間、国語便覧や古語辞典、文法書を必ず用意しておいてください。</p>

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ol style="list-style-type: none"> 1 進んで音読・話し合い・調べものなどの学習活動に取り組んでいるか。 2 積極的に古文に親しんでいるか。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習活動への参加の姿勢や態度 2 授業の中で使用するプリント 3 ノート
読む能力	<ol style="list-style-type: none"> 1 古文に表れた、作者や作中人物の思想や感情を的確に読み取ることができるか。 2 古文に描かれた世界と現代を対比することで、共通点・相違点を認識しているか。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習活動への参加の姿勢や態度 2 授業の中で使用するプリント 3 ノート
知識・理解	<ol style="list-style-type: none"> 1 古文の理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙点を認識しているか。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業の中で使用するプリント 2 定期考査 3 ノート

3 学習計画等

学期	考 査	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	中 間	4	1 物語 「竹取物語」	・伝奇物語のもつおもしろさ、親しみやすさを音読を通じて理解させる。古文の基礎的知識をしっかりと身につけさせる。
		5	2 物語 「伊勢物語」	・歌物語の歌とお話の独特なコントラストや面白さを感じ取るとともに、男女の微妙な心の動きなどについても学習させる。
	期 末	5	3 物語 「大和物語」 「落窪物語」	・和歌を中心とした歌物語の特質を理解します。 ・古文に対する親近感を持ち、昔の人のものの見方、考え方を味わいます。「伊勢物語」と比較することで、「大和物語」等の歌物語にも言及します。
		6	「落窪物語」	・継子いじめの話を通じて、昔の人々のものの見方、考え方を現代と比較しながら考える。
		7	4 物語 「堤中納言物語」	・複雑で不安定な当時の社会情勢に生きた人間たちの生き方を考えます。
	2 学 期	中 間	9	5 物語 「源氏物語」
10			「源氏物語」	・物語を通じて昔の人の見方、考え方などを学ぶ。
期 末		10	「源氏物語」	・源氏物語の作者が書いた日記を、源氏物語の学習後行うことによって、両者の関連の中で当時の宮廷世界について学ぶ。また、作者の人生観なりものの見方に触れ、現代に生きる糧とできるように指導する。
		11	6 日記 「紫式部日記」 7 随筆 「枕草子」	・代表的な古典随筆を通して、作者清少納言の感性に触れ、豊かな情感を磨く。
		12	「枕草子」	・基礎的な知識をしっかりと修得させる。
		3 学 期	学 年 末	1
2				
3				
課題提出物等	1	授業の中で使用するプリントなど		
	2	ノート		

教 科	外国語	単 位 数	3	学 科	普通科	学 年	3	全 / 選	選
科 目	ライティング								
使用教科書		NEW ACCESS to English Writing New Edition(開拓社)							
副 教 材 等									

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	既習の文法事項に加え、英文を書くにあたって必要な文法を身につける。文法の機械的な丸暗記ではなく、その奥にある概念まで理解する。逐語的な訳にとどまらず、日本語の文の idea を把握しそれを英語に移し変えるようにする。さらに、自分自身の考えを英語である程度表現できるようにする。
評 価 方 法	定期考査の点が7割 平常点が3割。平常点は、提出物(ノートやプリント)・小テスト・授業態度などにより、総合的につける。
生徒へのアドバイス	文法は、ただ覚えるだけではなく、文の意味と文法を結び付けて、なぜそうなるのかを考えるようにする。その上で、基本的な例文を何度も読み、かつ書いて覚えることが重要である。また語彙力は、あればあるほど自分が楽し英語が楽しくなるので、貪欲に単語を覚えていくことを心がける。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	授業中、話を聞いているか、ノートはとっているか、練習問題等の課題に取り組んでいるか、など学習態度を評価する。	授業時の発問への答え方を観察する。ノートやプリントを適宜提出させ、点検する。授業中に机間指導を行い、課題への取り組み方を観察する。結果はすべて記録しておく。
話 す 能 力	英語の文や文章を覚えて発する力を見る。基本例文や、あるテーマに基づいて自分で書いた英文を他の生徒の前で発表させて評価する。	英文の暗誦テストを適宜行い、暗記度・発声・発音などを点検する。英文を発表するスピーチテストを学期に1回行い、同じく暗記度・発声・発音を点検、評価する。
書 く 能 力	習った文法を用いて、与えられた文を英語にできるか。自分が言いたいことを英文で伝えることができるか。文の正しさと内容の観点で評価する。	この科目の最重要項目であるので、授業中の練習問題・小テスト・レポート・定期考査と、いろいろな手段を使い、幅広い学習活動の中で評価を行う。
聞 く 能 力	教師の発話や教科書準拠のCDを聴きとり、また、英文の発表での他の生徒の発表を聞いて、内容がつかめているかを評価する。	英文を聴いたあとにその内容を把握しているか質問し、その答えを評価する。必要に応じてリスニングテストを行い、その結果を評価に加える。
知 識 ・ 理 解	授業で習った文法事項を正しく理解しているか、また、英文を書くために必要な語彙は身につけているか、を評価する。	授業時に習った事柄に関する確認の質問をして、理解度を計る。また、定期考査のほかに、授業中に文法事項や単語の小テストを行ってその結果を評価に加える。

3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	・ S + V (+ 副詞句) ・ S + V + C 《名詞、形容詞》	・ 主語 + 動詞の語順を復習し、完全自動詞の働きを学習する。 ・ 主語と補語の関係を学習する。
		5	・ S + V + O ・ S + V + O + O	・ 英語で最もよく使われる文型について学習する。 ・ 2つの目的語の関係を学習する。
	期 末	5	・ S + V + O + C	・ 目的語と補語の関係について学習する。
		6	・ REVIEW ACTIVITY ・ 否定文。	・ not だけでなく, no を含む語を使った否定文の練習をする。
		7	・ まとめ、復習 ・ 期末試験	・ 1学期の復習をして、試験の準備をする。
2 学期	中 間	9	・ 疑問文。 ・ 各種の文の練習。	・ YES・NO 疑問文、疑問詞を使った疑問文の学習をする。 ・ 命令文、感嘆文なども学習する。
		10	・ REVIEW ACTIVITY ・ 現在・過去・未来時制	・ 3つの時制の基本的な使い方について学習する。
	期 末	10	・ 進行形 ・ 完了形	・ 現在・過去進行形について学習する。 ・ 進行形にならない動詞について学習する。 ・ 現在・過去完了形について学習する。
		11	・ REVIEW ACTIVITY ・ 受動態	・ 「受身」を表す表現を学習する。
		12	・ 助動詞	・ さまざまな助動詞について学習する。
3 学 期	学 年 末	1	・ 助動詞	・ 特に「推量」を表す助動詞について学習する。
		2		
		3		
課題提出物等		・ 課題プリント、ノート、レポート ・ 英語の辞書を用意すること ・ 小テスト、単語テスト、暗誦テストを実施する。		

教 科	数学	単 位 数	2	学 科	普通科	学 年	3	全 / 選	選
科 目	数学								
使用教科書	新版数学 （実教出版）								
副 教 材 等									

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	極限，微分法及び積分法についての理解を深め，知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに，それらを活用するようにします。
評 価 方 法	1 中間考査、期末考査、小テスト、プリント及び課題、授業態度、出席状況 その他などで評価します。 2 学期及び学年の評価は、原則として中間考査と期末考査の成績で70%、その他の項目で30%の配分で評価します。
生徒へのアドバイス	・ノートは、単に板書を写すだけでなく、手順やそこで必要な公式等の確認事項などが十分に理解できるように作成することが大切です。 ・授業中に感じた疑問などはそのままにせず，必ず質問をするように心がけましょう。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・数列の極限や関数について関心をもち，調べてみようとするか。 ・いろいろな関数の導関数や微分法の公式に関心をもち，微分法の応用の考察に活用しているか。 ・いろいろな関数の積分や積分法の公式に関心をもち，積分法の応用の面積，体積などの考察に活用しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の仕方や態度 ・授業で使用するプリント ・授業ノートの整理 ・問題演習への取り組み
数学的な見方や考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・数列や数列の収束・発散などの公式，分数関数や無理関数のグラフ，合成関数や逆関数，関数の極限を求める過程を考察することができるか。 ・いろいろな関数の導関数や微分法の公式を求める過程を考察し，グラフや方程式などの応用に考察したりすることができるか。 ・いろいろな関数の積分や積分法の公式を求める過程を考察し，区分求積法と定積分の関係，体積を求める過程などを考察することができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、小テスト ・授業で使用するプリント ・質問に対する発表の内容 ・演習問題プリント
表 現・処 理	<ul style="list-style-type: none"> ・数列の一般項や和，分数関数・無理関数のグラフ，合成関数や逆関数を求めたりすることができるか。関数の極限を求めることができるか。 ・いろいろな関数の導関数を求めることができ，問題の解法に活用することができるか。 ・いろいろな関数の不定積分や定積分を求めることができ，定積分を用いて面積や体積を求めることができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、小テスト ・授業で使用するプリント ・質問に対する発表の内容 ・演習問題プリント
知 識・理 解	<ul style="list-style-type: none"> ・数列やいろいろな関数，関数の極限值について理解しているか。 ・微分法の公式やいろいろな関数の導関数について理解し，グラフなどに応用できることを理解しているか。 ・積分法の公式やいろいろな関数の不定積分について理解し，区分求積法と定積分の関係，平面図形の面積や立体の体積を，定積分を用いて求める方法を理解しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、小テスト

3 学習計画等

学期	考 査	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	中 間	4	数学 第3章 三角関数 1節 三角関数 1. 一般角 2. 弧度法 3. 三角関数 4. 三角関数の性質 5. 三角関数のグラフ 2節 加法定理 1. 加法定理 2. 加法定理の応用	・角の概念を一般角まで拡張し、三角関数の値を求めることができるようにする。 ・弧度法で角を表せるようにする。 ・三角関数の間に成り立つ関係を理解し、その値を求めることに活用する。 ・三角関数のグラフを書き、その特徴が理解できるようにする。 ・加法定理を理解し、三角関数の計算に活用できるようにする。
		5		
	期 末	5		
		6		
		7		
2 学 期	中 間	9	数学 1章 関数と極限 2節 数列とその極限 1. 数列の極限 2. 等比数列の極限 3節 関数の極限 1. 関数の極限 2章 微分法 1節 微分法 1. 微分係数と導関数 2. 関数の微分法 2節 いろいろな関数の微分 1. 三角関数の導関数 2. 対数関数と指数関数の導関数	・極限の概念を理解し、数列の極限の考察に活用できるようにします。 ・極限の考え方を関数の極限の考察に活用できるようにし、いろいろな関数の極限を求められるようにします。 ・関数の和、差、積、商の導関数や合成関数の導関数について理解します。 ・いろいろな関数についての微分法を理解し、微分法の有用性を認識するとともに、具体的な事象の考察に活用できるようにします。
		10		
	期 末	10		
		11		
		12		
3 学 年 末	学 年 末	1	3章 積分法 1節 不定積分 1. 不定積分の公式 2節 定積分 1. 定積分	・不定積分や定積分の基本的な性質や簡単な置換積分法及び部分積分法を理解します。
		2		
		3		
課題提出物等			・必要に応じてノート及び授業中に使用したプリント等。	

教 科	理科	単 位 数	3	学 科	普通科	学 年	3	全 ／ 選	選
科 目	物理								
使用教科書		物理 （第一学習社）							
副 教 材 等		トライアルノート物理 （数研出版）							

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 基本的な概念や原理・法則を理解する。 2 物理的な事物・事象についての観察、実験などを行い、自然に対する関心や探求心を高める。 3 科学的な自然観を養う。
評 価 方 法	1 中間と期末の定期考査、プリント、授業ノート、実験レポートなどの提出物、発表の仕方や内容、学習・実験活動への主体的な取り組み方で評価します。 2 各学期ごとの中間考査と期末考査の成績を 70%、提出物と学習活動へどれだけ主体的に取り組めたかを 30%の割合で配分し学期毎の成績とします。 3 各学期毎の成績を総合し、年間の学習成績とします。
生徒へのアドバイス	・私たちの判断基準は、日常経験を通して得られたものです。この経験による判断が様々な偏見を作り出します。これを別の視点から見直し新しい自然観を造り出すのが物理です。どうか学習するにあたって公式の丸暗記ではなく、想像力を働かせて授業に望んでください。 ・ノートは、板書をそのまま写すのではなく、自分なりに分かりやすく工夫をして記入をしたり、疑問を感じた点や追求したい事柄をメモしておくことで学習に広がりがあります。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	・自然の物理的な事物・現象について関心・探求心をもち意欲的にそれらを探求するとともに、態度を身につけようとしている。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・実験レポート ・授業中に使用したプリント ・ノート
思考・判断	・自然の物理的な事物・現象に問題を見だし、実験・観察などを行うとともに、物理学的に探求する能力と態度が形成され、基本的な概念・法則を理解し、科学的な自然観をもつことができる。	・実験レポート ・授業中に使用したプリント ・ノート
観察・実験の技能・表現	・自然の物理的な事物・現象に関する観察・実験の技能を修得するとともに、それらを科学的に探求する方法として身につけ、それらの過程や結果及びそこから導き出された考えを的確に表現することができる。	・実験レポート ・授業中に使用したプリント ・ノート
知識・理解	・観察・実験などを通して、自然の物理的な事物・現象に対して、基本的な概念や原理・法則を理解し、身につけている。	・定期考査 ・実験レポート

3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	第 章 力と運動 第 1 節 物体の運動 平面の運動 落下運動	・ 2次元平面上で、速度・加速度のベクトルを用いた表し方を理解し、速度の合成・分解について理解する。 ・ 運動の法則について再確認する。
		5	運動量と力積 運動量の保存 第 2 節 円運動と単振動	・ 運動量と力積の関係を理解する。 ・ 保存量としての観点から運動量をとらえ、運動量保存の法則を理解する。
	期 末	5	円運動 単振動 万有引力	・ 慣性力の考え方を理解する。 ・ 等速円運動の速度、角速度、向心加速度、向心力や遠心力について理解する。 ・ 単振動と円運動の関係を通して、単振動の周期、変位、速度、加速度を理解する。 ・ 万有引力の法則を理解する。
		6		
		7		
2 学期	中 間	9	第 章 電気と磁気 第 1 節 電場と電位 電場 電位 コンデンサー	・ 摩擦電気を通して、帯電の仕組み、電気量の保存を理解する。 ・ 電気力が電界という「場」を介して伝わり、電界が物質とは異なる、もう一つの実体であることを理解する。 ・ 電界と電位差の関係を理解する。 ・ 平行板コンデンサーを具体例として取り扱い、静電気現象の理解を深める。
		10	第 2 節 電流と磁場 電流 磁場 電流が磁場から受ける力 ローレンツ力	・ 直流回路を通して、オームの法則やキルヒホッフの法則を理解する。 ・ 電流のつくる磁界の性質を理解する。 ・ 電流が磁界から受ける力の性質を理解し、運動する荷電粒子が磁界から受けるローレンツ力がより基本的なものであることを理解する。
	期 末	11	第 3 節 電磁誘導と交流 電磁誘導 交流 電磁波	・ 電磁誘導の法則を理解する。 ・ 電磁波の放射のしくみを定性的に理解し、電波の性質を理解する。
		12		
3 学期	学 年 末	1	第 章 物質と原子 第 1 節 原子・分子の運動 第 2 節 原子・電子と物質の性質	・ 光電効果の実験とアインシュタインの光の量子論を理解する。 ・ 光やX線の二重性について理解する。 ・ 電子の波動性と物質波、波動と粒子の二重性について理解する。 ・ 原子の構造とボーアの水素原子モデルを理解し、水素原子のスペクトルについて理解する。
		2		
		3		
課題提出物等		1 授業の中で使用するプリント 2 授業ノートを指定された時期に提出 3 実験レポート (1)提出期限厳守して下さい。 (2)データの処理、考察、調べたことをまとめて提出します。		

教 科	理科	単 位 数	3	学 科	普通科	学 年	3	全 選	選
科 目	化学								
使用教科書	化学（数研出版）								
副 教 材 等	なし								

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 基本的な概念や原理・法則を理解します。 2 身の回りの化学物質について、実験、観察など通してより深く理解するとともに化学が日常生活にもたらす恩恵とマイナス面を自ら考え、化学への関心と自然に対する探求心などを育てます。 3 科学的な自然観を養います。
評 価 方 法	1 中間と期末の定期考査、プリント、授業ノート、実験レポートなどの提出物、発表の仕方や内容、学習・実験活動への主体的な取り組み方で評価します。 2 各学期ごとの中間考査と期末考査の成績を 70%、提出物と学習活動へどれだけ主体的に取り組めたかを 30%の割合で配分し学期毎の成績とします。 3 各学期毎の成績を総合し、年間の学習成績とします。
生徒へのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・化学の勉強ということだけでなく、いろいろな現象のもととなる物質とは何かや、自然に潜む法則性の発見、ものを作る楽しさなど、自分なりの楽しさを発見して下さい。どうか学習するにあたって公式の丸暗記ではなく、想像力を働かせて授業に臨んでください。 ・ノートは、板書をそのまま写すのではなく、自分なりに分かりやすく工夫をして記入をしたり、疑問を感じた点や追求したい事柄をメモしておくことで学習に広がりが生まれます。 ・不明な点や疑問があったら質問や意見を出してください。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	・自然の化学的な事物・現象について関心・探求心をもち意欲的にそれらを探求するとともに、態度を身につけようとしているか。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・実験レポート ・授業中で使用したプリント ・ノート ・提出物の出来具合
思考・判断	・自然の化学的な事物・現象に問題を見だし、実験・観察などを行うとともに、化学学的に探求する能力と態度が形成され、基本的な概念・法則を理解し、科学的な自然観をもつことができるか。	・定期考査の応用問題 ・実験レポートの出来具合 ・課題レポートの出来具合 ・授業中で使用したプリント ・ノート
観察・実験の技能・表現	・自然の化学的な事物・現象に関する観察・実験の技能を修得するとともに、それらを科学的に探求する方法として身につけ、それらの過程や結果及びそこから導き出された考えを的確に表現することができるか。	・実験レポート ・授業中で使用したプリント ・ノート
知識・理解	・観察・実験などを通して、自然の化学的な事物・現象に対して、基本的な概念や原理・法則を理解し、身につけているか。	・定期考査 ・実験レポート ・課題レポート

3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	第1編 物質の構造と物質の状態 第1章 粒子の結合	・個々の粒子がどのようなしくみで結合しているか理解します。 ・イオン結合、共有結合、金属結合、分子間力による結合からなる物質の種類や表し方・特徴的な性質を理解します。
		5	第2章 物質の三態	・三態変化を分子の状態で理解します。 ・気液平衡の概念を理解し、蒸発と沸騰の違いや、沸点・凝固点について理解します。
	期 末	5	第3章 気体	・気体の体積と圧力との関係、温度との関係が簡単な数式で表されることを学び、絶対温度の概念も理解します。
		6	第4章 溶液	・ボイル・シャルルの法則を理解します。 ・溶解のしくみを理解します。 ・溶解度と濃度について計算方法を体得します。
		7		・希薄溶液とコロイド溶液の性質について理解します。
2 学期	中 間	9	第2編 化学反応の速さと化学平衡 第1章 化学反応の速さと化学反応のしくみ	・速い反応と遅い反応があること理解します。 ・温度、濃度と触媒が反応の速さに影響を与えることを理解します。
		10	第2章 化学平衡	・平衡状態が温度・濃度・圧力とどのような関係にあるか理解します。
	期 末	10	第4編 生命と物質	・生命体の主な構成成分である脂肪、炭水化物、タンパク質について、その種類や性質と化学構造の関係を理解します。
		11	第1章 生命の化学 第2章 薬品の化学	・生命活動を支えるエネルギーを光合成や消化吸収に関連づけて理解します。 ・酵素のはたらきについて理解します。 ・医薬品の例や服薬の注意、農薬の例や環境に対する影響について理科します。
		12		
3 学期	学 年 末	1	第5編 課題研究 第1章 課題研究の目的と手順 第2章 課題研究の題目	・身近な物質や現象を研究テーマとし、実験を通し研究を行います。
課題提出物等		1 授業の中で使用するプリント 2 授業ノートを指定された時期に提出 3 実験レポート (1)提出期限を厳守 (2)データの処理、考察、調べたことをまとめて提出		

教 科	理科	単 位 数	3	学 科	普通科	学 年	3	全 選	選
科 目	生物								
使用教科書	生物 （東京書籍）								
副 教 材 等									

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	<p>1 広い視野から多種多様な生物とその生物現象に興味・関心を持ち、そこから新たな疑問点を見出すことで生物についての理解を一層深めます。</p> <p>2 観察，実験を通して探求する能力と科学的な自然観を身に付けます。</p> <p>3 基本的な概念や原理・法則を理解します。</p>
評 価 方 法	<p>中間と期末の定期考査の成績で70%，課題，実験レポート，授業ノート，プリント等の提出物，その他，授業への取り組みを含めて30%の配分で総合的に判断して行います。</p>
生徒へのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・1回ごとの授業を大切に，授業を通して，生物についての科学的な見方や考え方ができるように自分の学習目標を設定しましょう。 ・教師の発問には積極的に答えてください。 ・不明な点や疑問があったら質問や意見を出してください。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象に関心を持ち，意欲的に授業に参加し取り組んでいるか。 ・教師の発問に対して，意欲的に答えているか。 ・授業態度は良好か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加の仕方や態度 ・ノート，プリント，レポートの内容及び提出状況 ・ノート，プリントの活用状況及び記入状況
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・自然界の現象に関して，様々な観点から考察を加え，論理的に考えることができるか。 ・客観的な事実に基づいて生物現象を科学的に判断することができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査の記述式問題。 ・レポートの内容 ・授業で使用するプリントの記入状況 ・発表の内容や仕方
観察・実験の技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・観察，実験の方法や実験器具の操作を理解して正しく行う能力を身につけたか。 ・自然界の生物現象について科学的に探究する方法を身につけたか。 ・実験，観察の結果を的確に表現することができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査での観察，実験に関する問題 ・レポートの内容 ・授業で使用するプリントの記入状況 ・発表の内容や仕方 ・実験器具の操作や方法
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象における原理 ・法則などの基本的な知識や考え方を理解しているか。 ・観察，実験の目的や実験の原理などを理解しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ノート，プリントの活用状況及び記入状況 ・レポートの内容

3 学習計画等

学期	考 査	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	中 間	4	1 生命活動を支える物質 (1) タンパク質の構造とはたらき	タンパク質の重要性とその構造，および酵素による化学反応を理解します。
		5	(2) 代謝とタンパク質	代謝とエネルギーの関係について知識を深め，呼吸，光合成，窒素同化についての過程を理解します。
	期 末	5	(3) 生物の機能とタンパク質のはたらき	細胞膜における物質の輸送，筋肉の収縮，免疫現象をとおしてタンパク質が生物現象にかかわっていることを理解します。
		6	2 遺伝情報とその発見 (1) 遺伝子の本体とはたらき	遺伝子とタンパク質のかかわりについて考察します。また，DNAの構造について理解します。
		7		DNAの複製についてその仕組みを理解します。
2 学 期	中 間	9	(2) 遺伝子の発現	RNAの構造を簡単に考察し，転写，遺伝暗号，そしてその翻訳について理解します。
		10	(3) 遺伝子発現の調節	遺伝子は，時間的，空間的に異なる遺伝子が発現されるよう調節されることによって，細胞の分化や形態形成が起こることを理解します。
	期 末	10	(2) バイオテクノロジー	遺伝子操作が様々な分野で研究されていることを理解します。また，その課題についても考察します。
		11	3 生物の集団 (1) 個体群の構造と維持	環境と生物について考察し，個体群の構造と成長，個体間の相互作用について理解します。
		12		生物の環境適用について理解します。
3 学 期	学 年 末	1	(2) 生物群集と生態系	個体群間の相互作用や生物群集と環境とのかわりによる生物群集の維持や変動について理解します。
		2		
		3		
課題提出物等		・授業プリント ・授業ノート ・問題集 ・実験 ・観察レポート		

教 科	公民	単 位 数	2	学 科	普通科	学 年	3	全 ／ 選	選
科 目	政治経済								
使用教科書		高等学校 改訂版 政治・経済（第一学習社）							
副 教 材 等		資料 政治経済 （東学）							

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 広い視野にたって、民主主義の本質を理解する。 2 現代の政治経済・国際関係に関する興味・関心をひきだし、その客観的な理解をはかる。 3 現代の政治経済の諸課題に対する多様な見方・考え方を学び、その解決策について考える
評 価 方 法	定期考査 7 割 平常点（授業への取り組み、レポート等） 3 割
生徒へのアドバイス	1 日々の授業が基本。教科書・資料集などを丁寧に読み、説明に謙虚に耳を傾けてほしい。 2 疑問におもったことを大切にしてほしい。自分で調べてみると社会への興味は一段と深まるはずである。 3 新聞やテレビで報道される事柄に注意をはらい、学習内容と関連づけるようにしてほしい。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	政治経済の諸問題への関心をたかめ、その解決にむけて、考えかつ努力する意欲と態度を養う。	教科書 提出物 ノート 授業への姿勢
資料活用・表現	教科書や資料集の写真・グラフ・図版、新聞記事・ニュース番組等を読み解き、政治経済の出来事を豊かで深みのあるものとしてとらえ、その過程や結果をさまざまな方法で表現する。	資料の収集 資料の解釈 発表
思考・判断	資料の解釈・分析をとおして、政治経済的事項の関連や背景・因果関係をさぐり、判断する。	発言 発表 提出物 定期考査
知識・理解	政治経済に関する基本的事項への理解を深める。	定期考査 提出物

3 学習計画等

学期	考查	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中間	4	第 編現代の政治 第 1 章日本国憲法の基本的性格 日本国憲法の成立	日本国憲法の成立過程をふまえ、憲法の三大原理を把握される。 とくに新しい人権について考える。 冷戦終結後の日本の安全保障について考える。
		5	基本的人権の保障 平和主義と憲法	
	期末	5	第 2 章日本国憲法と政治機構 国会と内閣 裁判所 地方自治	三権および地方自治など日本の統治機構に関する理解をふかめ、その課題について考察させる。
		6	第 3 章現代の民主政治 基本原理 世界の主な政治体制 政党政治と選挙	民主主義の原理や発展について理解させる。 日本の政党政治や選挙制度の特質を把握させ、望ましい政治や参政のあり方について考察させる。
		7	現代民主政治の特質と課題	
2 学期	中間	9	第 4 章現代の国際政治 国際法 国際連合 国際政治の動向 国際社会と日本の役割	国際関係の基本的事項への理解を深め、現代世界の諸問題について考えさせる。
		10	第 編現代の経済 第 1 章現代経済のしくみ 資本主義 社会主義 市場 経済成長 景気変動 金融・財政	基本的な経済のしくみについて理解させる。
	期末	10	第 2 章現代経済と福祉の向上 日本経済のあゆみ 中小企業と農業	日本経済が直面する課題について理解し、今後の展望について考察させる。
		11	消費者問題 公害問題 労働関係 社会福祉 第 3 章国際経済の動向 国際経済のしくみと動向 発展途上国の諸問題	国際経済の基本的なしくみについて理解させる。 地域統合や経済摩擦、南北問題など国際経済をとりまく課題を理解させる。
		12	国際経済と日本の役割	
3 学期	学年末	1	第 編現代社会の諸問題 第 1 章現代日本の諸問題 第 2 章国際社会の諸問題	政治経済に関する基本的理解をふまえ、現代の政治や経済の諸課題を主体的に解決する態度を養う。
		2		
		3		
課題提出物等	ノート 課題プリント ビデオ視聴後のレポート等			

教 科	情報	単位 数	3	学 科	普通科	学 年	3	全 ／ 選	選
科 目	情報と表現								
使用教科書		情報と表現（実教出版）							
副 教 材 等		ワープロ実務検定模擬試験問題集（実教出版）							

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	コミュニケーションやプレゼンテーションの基礎的・基本的な知識と技術を身につけます。 各自の目標に応じた検定試験に合格します。
評 価 方 法	各学期とも ・ 定期考査 5 0 %、 ・ 課題および発表 4 0 %、 ・ 授業への参加態度 1 0 % でおこないます。
生徒へのアドバイス	資格試験合格を目指す人のための授業なので繰り返し文書を書く練習を行います。一二期はほぼ毎時間ワープロの文書を提出してもらいますので怠けていると大変です。 漢字の読み書きが重要になりますので、漢字テストに意欲的に取り組みましょう。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業を真剣に受けているか。 ・ 教材をきちんと用意しているか。 	毎回の授業で確認する。
読み書きの能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字が正しく読めるか ・ 同音異義語が正しく使えるか ・ おくりがなが正しく使えるか 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査で評価する。 ・ 検定試験模擬問題で評価する。 ・ 提出された作品で評価する。
技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的に応じた表現手段を選んでいるか ・ 速く、正確に作品は作成できるか ・ 意図を十分に伝えられたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提出された作品で評価する。 ・ タイピング練習ソフトで評価する。
知 識 ・ 理 解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報伝達・発信のための基礎的な知識を身につけているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査で評価する ・ 提出された作品で評価する。 ・ 授業中に行う検定試験模擬問題で評価する。

3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	オリエンテーション コミュニケーションの基礎	これから行われる授業について理解します。
		5	文書による表現技法 ワープロの利用 わかりやすい文書 定型文書	ワードプロセッサの基本的な使用ができるようにします。 ビジネス文書の基本的な構造がわかるようにします。
	期 末	5	ワープロ実務検定受検	ワープロ実務検定 4 級または 3 級程度の技能が身につくようにします。
		6		
		7		
2 学期	中 間	9	文書による表現技法 ワープロの利用	ワードプロセッサをより効率的に使えるようにします。
		10	定型文書	
	期 末	10	ワープロ実務検定受検 Wiki を使用した辞典作り	ワープロ実務検定 3 級または 2 級程度の技能が身につくようにします。 ウェブでの表現方法を身につけます。 ワープロ技能を応用した、wiki によるウェブページを作成します。
		11		
		12		
3 学期	学 年 末	1	ブログの作成	ブログによるウェブページの作成を通してウェブ上の表現と問題点を学びます。
		2		
		3		
課題提出物等		・一二期はほぼ毎時間ワープロによる文書、数時間おきに行う筆記試験問題。 ・二三学期は時間毎に作成した画像やウェブページ		